

ツタヤに委託? どうするどうなる多賀城の図書館?

市当局「決定したのは本館移転のみ」



題字は池田和京さんにご揮毫いただきました。

日本共産党
多賀城市議団
多賀城市留ヶ谷一丁目11番23号
代表(364)3222
FAX(309)3910

◇弁護士による
法律相談
◇申込
電話で予約して下さい。
◇電話
364-3222
◇相談日
6月5日(水)
6月17日(月)
◇時間
午後1:30~
◇場所
旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

◇議員による
暮らしの相談
電話
藤原益栄議員
368-6623
070-6497-6623
佐藤恵子議員
367-0182
090-2027-9884
柳原きよし議員
368-1883
090-2605-4984
戸津川はるみ議員
090-7528-2075

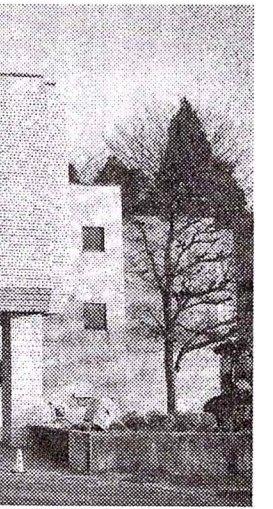
藤原ますえい 市議が批判 「所管は教育委員会。市長は発言に節度を！」

5月29日午後、多賀城市議会全員協議会が開催され、市当局から駅前への開発構想について説明がありました。マスコミ報道もあり質疑は図書館問題に集中しました。日本共産党多賀城市議団は藤原益栄団長が質疑を行いました。

まず藤原市議は「マスコミは、市が、図書館を駅前に移転し、運営はツタヤを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)に委託することを決定

したかのように報じている。コミは誤報だったのか」と質したのに対し同室長は「それしか決めていない」と答えました。

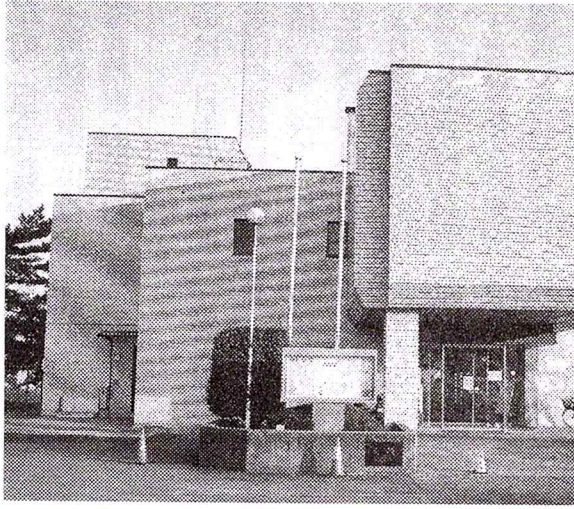
また市長が「(図書館の運営は)どういった方法がふさわしいか、さまざまな選択肢を検討して慎重に進めていく。1カ月くらいで結論を出したい」(河北5/26)と述べたと報じられている点について「電話取



を駅前に移転することと答弁。なお藤原市議が「マス

質したところ「教育の政治的中立性や事務の継続性の保持のため」と答えました。藤原市議は「まったくそのとおり」としつつ、「所管する教育委員会でまだなん

に、同委員会を飛び越えて、市長が図書館の運営についてあれこれマスコミに語るのははしやぎ過ぎ、前のめり過ぎて、冷静な議論の障害になる」と自制を求めました。



29日、市図書館をめぐる問題について、藤原益栄党多賀城市議団長は以下の談話を発表しました。

- 1、図書館を駅前に移転することについて党市議団は「一定の条件がそろえば歓迎する」と表明してきた。「一定の条件」とは十分な容量の書庫が設けられること、図書館利用の無料原則にふさわしく一定時間無料の駐車場が十分に確保されることである。これらはまだ担保されておらず、また、教育委員会の正式決定もなされていない。移転問題自体、十分な議論が必要であることは言うまでもない。
- 2、運営形態について、ある幹部は「CCCへの委託は決めてはいないが選択肢のひとつ」としている。しかしこの問題は市の幹部が一度武雄市の図書館を見て決めるような底の浅い問題ではない。どういう図書館をめざし図書を選定と除籍は誰が責任をもっておこなうのか、カンファレンスの体制は維持されるのか等々多くの検討すべき問題がある。本来これらは次期の「図書館基本計画」策定のなかで検討されるべきものだが、何らの検討もなされていない段階で市長部局の幹部から委託先について特定の業者名が出てくるなど本末転倒である。図書館を単に駅前の賑わい創出の手段と考えていないか、懸念を持たざるを得ない。
- 3、市長はしばしば教育委員会を無視した発言をしており、節度が求められている。市教委は専門的見地からもっと主体性を持って意見集約にあたるべきである。
- 4、党市議団としては市民とともに調査と研究をすすめ、6月議会で全面的に取り上げる予定である。

「悠然潤陸奥国領」にはその感謝の気持ちを込めている。

東風城目

27、28日、18人の参加による啄木ツアーがあった。晴天そして何処へ行っても満開の藤の花が甘い匂いで迎えてくれた。岩手山も姫神山もいつになくすつきり見え新緑も格別、北上川の水源も訪ねた▼「北上御堂発一溜/狐禅寺至流滔滔/此大河時招災害/悠然潤陸奥国領」。現地で七言絶句を披露。「北上は御堂に一溜を発し、狐禅寺に至りて流れ滔滔たり。此大河時として災害を招くも、悠然として陸奥国領を潤す」と読む▼御堂は北上川水源の地名。溜は滴と同義。狐禅寺は岩手県と宮城県境にある峡谷。岩手県内の支流を集め広く流れてきた北上川はここで突然川幅が狭まり、一関水害の原因となっている▼逆を言えば宮城は狐禅寺峡谷に守られているのだ。かつて建設省は狐禅寺の川幅を広げること検討したが、宮城が大変になると断念。スーパード堤防で一関・平泉を守る策に切り替えた。それで見つかったのが「柳の御所」跡：▼かくして北上川は狐禅寺を境に、せせらぎから大河に大きく様相を変える。時として水害を招くこともあるけれどやはり岩手・宮城は北上川から大きな恩恵を受けている。「悠然潤陸奥国領」にはその感謝の気持ちを込めている。